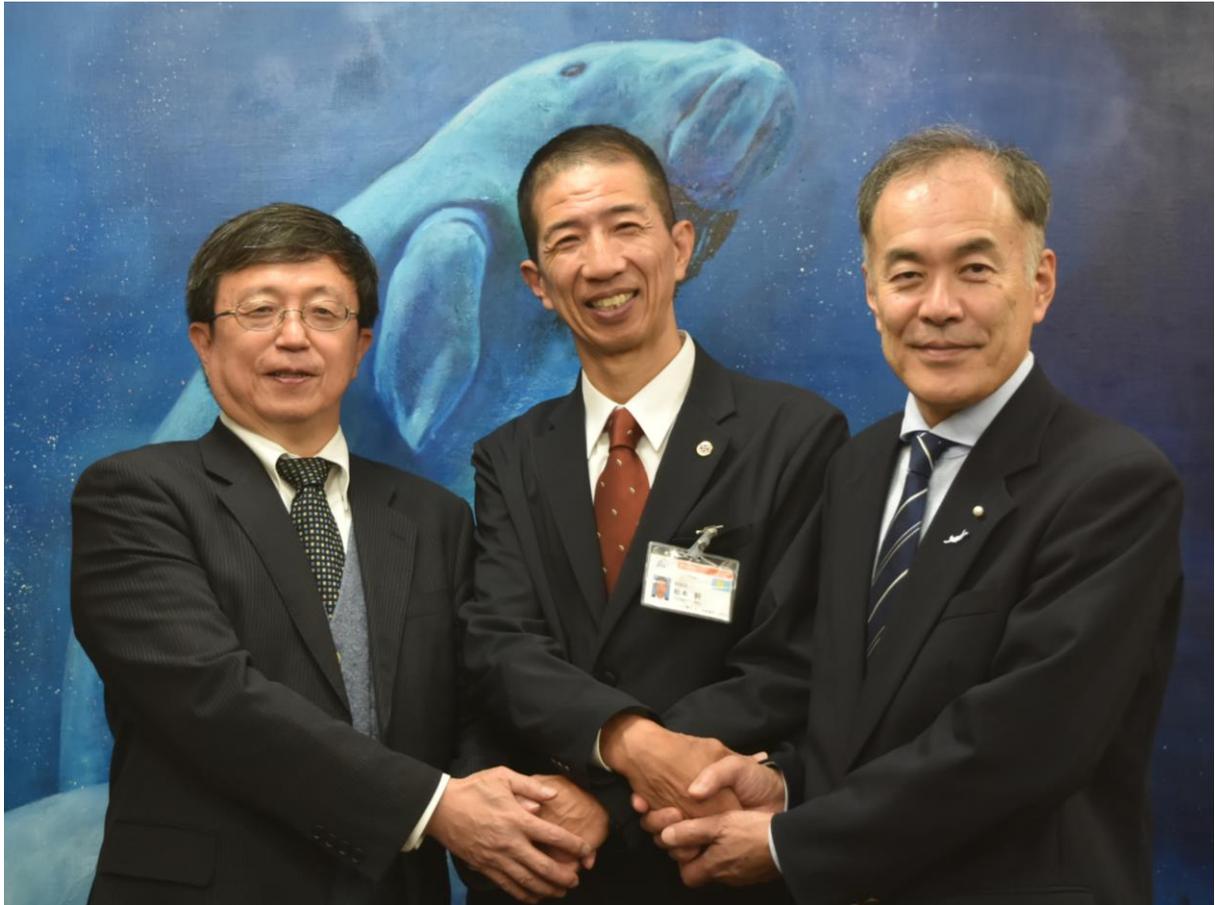


令和元年11月25日(月)

## JICAと鳥羽水族館の民間連携！ パラオ共和国へ派遣される杉本幹さん表敬訪問

11月25日、鳥羽水族館の杉本幹さんが市長室を訪れ、鳥羽水族館とJICAとの民間連携によるパラオ共和国への長期派遣が決まったことを報告しました。



JICA 中部 長所長

杉本幹さん

中村市長

JICA は開発途上国の経済と社会の発展に貢献するため JICA 海外協力隊員を派遣しています。70 日間の派遣前訓練を終え、派遣が決まった杉本さんは「鳥羽市とパラオ、三重県とパラオをつなぐ架け橋を担う仕事をしたい」と抱負を述べ、中村市長は「即戦力として頑張ってもらいたい」と激励しました。また、JICA 中部の長英一郎所長は「貴重な人材を送り出すことに対し、水族館にお礼申し上げたい」と感謝し、鳥羽水族館の奥出協代表取締役社長兼館長は「語学力があり、地域コミュニティへの学習の手伝いができる人材として、経験豊富な杉本が浮上した。十分活躍してくれると思う」と話しました。

杉本さんは三重県初の JICA 海外協力隊（民間連携）隊員として、令和 2 年 1 月に日本を出発し、パラオ共和国のパラオ国際サンゴ礁センター附属水族館にて飼育展示や海洋資源保護の指導や環境資源の大切さについて 2 年間啓もう活動に従事します。